

# 学校だより

## 三郷市立彦糸小学校

学校教育目標

「きよく かしく たくましく」

- 仲良く助け合う子
- 進んで学ぶ子
- 元気に運動する子

令和3年3月1日発行



## 残心 ～卒業・修了に向けて～

校長 田崎 研志



梅の花が美しく咲いています

日本の武道や芸道において使われる言葉に「残心（ざんしん）」があります。

剣道では、相手に打ち込み、見事に面や胴を打ったとしても、それでよしとしません。相手から反撃される可能性、自分が連続して技を仕掛ける機会が考えられるからです。そのため、打っただけ、当たっただけでは一本とは見なされず、審判の合議の上で取り消しとされることもあるようです。一つの動作を終えた後でも緊張を持続させ、心身の備えを怠らないという心構えが大切にされています。

これは、学校生活や日常の所作にも通じるものがあります。片づけさえすれば、終えさえすれば、それで終わりではありません。下足箱で上履きに履き替えた後の外履きの置き方、教室の扉の閉め方、学校図書館の本の戻し方、給食後の食器の返し方…。何気ない動作や行動の一つ一つが大切です。学習でのテストやプリントを見直し、間違い直しも同様と言えます。

「終わったら、それでおしまい」ではなく、「その先に何かがあるか」「その次は何をすればよいか」を常に考え、気を緩めることなく責任をもって行動する習慣を身につけたいと考えています。

今月で令和2年度が終わります。卒業・修了という大きな節目を迎える子供たちに、この一年間をしっかりと振り返るだけでなく、次へのステップに弾みをつけるためにも「残心」を大切に、指導を続けてまいります。

新型コロナウイルス感染症に明け暮れた一年間でした。油断できない状況がまだ続きそうです。保護者の皆様や地域の皆様に温かく支えられ、ここまでできました。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

### 【次年度に向けて】

#### 登校時間の変更について 令和3年4月～ 7:45～8:00に登校

- ・令和3年9月から予定されている彦糸地区・彦音地区の子供たちの通学路変更時に、集合・出発時刻の差を極力少なくしたいため。  
→ 現状のままだと集合・出発時刻がかなり早くなり、子供たちやご家庭の負担が大きくなるため。
- ・教職員の出勤に余裕を持たせ、新型コロナ対応をより確実に実施するため。  
→ 現在、担任が毎朝子供たちの健康観察カード確認をしています。カードや検温を忘れた児童への対応、欠席者の確認等に他の教員と連携し対応していますが、電話対応等も重なり、厳しい状況にあるため。  
**ご理解、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。（後日改めて文書を出します。）**

### 3月1日現在の児童数

1年生	30名	2年生	20名	3年生	24名
4年生	42名	5年生	32名	6年生	45名
あおぞら	15名			合計	208名

## 学校評価結果

学校評価は、自校の教育の成果を検証し、組織的・継続的にその改善を資することを目的としています。学校評価運営委員会（学校評議員、PTA本部役員等）は、学校の自己評価をもとに評価し、学校は次年度に向けて改善してまいります。裏面に掲載しましたのでご覧ください。

## 22000冊突破!

今年度の貸出冊数、目標の22000冊を1月末で突破しました。それから1カ月経ち、2月末で26463冊となっています。読書メーターも、既に飛び出てしまいました。彦糸小の子供たちの読書の成果があらわれていますね!



1月	スキルアップタイム 通学班編成会議 一斉下校
2月	全校朝会 委員会活動
3月	彦糸タイム(1・3・5年) スキルアップタイム(2・4・6年)
4月	全校読書
5月	彦糸タイム(2・4・6年) スキルアップタイム(1・3・5年) 教育相談日
6月	
7月	
8月	スキルアップタイム
9月	美化デー
10月	彦糸タイム(1・3・5年) スキルアップタイム(2・4・6年)
11月	全校読書
12月	彦糸タイム(2・4・6年) スキルアップタイム(1・3・5年)
13月	
14日	
15月	スキルアップタイム
16月	表彰朝会
17水	スキルアップタイム
18木	全校読書 給食終了日
19金	特別日課4時間授業
20土	春分の日
21日	
22月	特別日課4時間授業
23火	特別日課4時間授業 スクールカウンセラー来校日(午後)
24水	卒業証書授与式 1～5年生臨時休業日
25木	学級の時間 3時間授業 6年生臨時休業日
26金	学級の時間 修了式 3時間授業 6年生臨時休業日
27土	学年末休業日・春季休業日(～4/7)
28日	
29月	
30火	
31水	

掲載している予定等につきましては現時点のもので、今後の状況により変更となる場合もあります。大きく変更のある場合はメール配信、ならびにホームページにてお知らせしますのでご確認をお願いいたします。

## 6年生へのメッセージ

2月25日に予定されていた「6年生を送る会」ですが、緊急事態宣言延長に伴い、体育館での実施ができない状況となりました。卒業していく6年生に何らかのメッセージを伝えたいと考え、今年度は各学年の発表をDVDにして、6年生に見てもらおう形をとりました。それぞれ工夫を凝らした発表で、6年生もとても喜んでくれました!



# 令和2年度 三郷市立彦系小学校 学校評価報告書

評価項目	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	
組織運営等の状況	教育目標	3.35	3.50	
	特別のある子どもや障害のある子どもが安心して学べる学校づくり	1	3.47	4.00
		2	3.35	3.40
		3	3.35	3.25
		4	3.59	3.80
		5	3.41	4.00
授業等の状況	6	3.29	3.00	
	7	3.00	3.25	
	8	3.35	3.50	
	9	3.29	3.00	
	10	3.65	3.75	
	11	3.41	3.75	
	12	3.24	3.50	
	13	3.35	3.60	
	14	3.59	4.00	
	15	3.41	4.00	
	16	3.24	3.50	
	17	3.29	3.20	
指導・管理の状況	18	3.18	3.00	
	19	3.18	3.50	
	20	3.35	3.75	
	21	3.24	3.25	
	22	3.41	4.00	
	23	3.29	3.20	
	24	3.35	4.00	
	25	3.35	4.00	
	26	3.00	3.50	
	27	3.76	4.00	
28	2.94	3.40		
29	3.06	3.75		

学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え

管理職が中心となって家庭・地域の実態にあわせて目標を設定し、職員一丸となって組織的に取り組んでいる。担任間で話し合いながら児童に対して指導を行っている。共通理解し、共通行動を行っている。

行事等の反省を生かし、次年度に向けて改善している。また、改善させるポイントを絞り、各部会を中心に方策をとることができている。今年度はコロナ禍において、学校活動全般において臨機応変な対応を行ってきた。

伝統文化(和太鼓、三味線、大正琴)を地域の方から教わっている(コロナ禍の影響で対外的な発表の場は中止となった)。彦系中学校との連携を図り、合同あいさつ運動などを行っている。外国籍児童在籍が多いことを特色に、国際交流集会を行っている。

特色ある学校づくりを目指すため、高学年は伝統文化(和太鼓、三味線、大正琴)、外国籍児童が多く在籍する本学校の実態に応じてスイスタ、Eスタ、国際交流集会を行っている。外国語の掲示物や、図書館の国際理解コーナーなどを作っている。

倫理確立委員会や定期的な研修、臨時的な職業を行い、服務規律を見直す機会を作っている。倫理確立委員会の実施などで、不祥事が他人事ではなく、常に身の回りで起こっていると再確認できる場が設けられている。

季節祭典等教材に向け、研修課題である道徳)について研究授業を中心に一丸となって取り組んだ。加えて、道徳の掲示物や教材の作成、充実を図った。学方向上に向け「振り返りチェック10」を活用の上、教職員間で授業参観を行うとともに、学方向上推進委員会を中心に方策を練ってきた。

学方向上推進委員会を組織し、教員同士の授業参観を積極的にしている。学方向上を目指し、板書や表紙の仕上がりなど、授業改善に取り組んでいる。加えて、1人1回の研究授業を実施している。各学年の実態に合わせた学習プリントなどを使用したり、導入や振り返りの工夫を図ったりしている。

算数、国語など振り返りの時間を確保して、基礎的・基本的な学力が身につくように指導している。生徒指導・学級経営リフレンドを活用し、より学級経営を充実させている。算数の授業中に、基礎・基本を身に付けさせるような時間を取り入れている。算数の板書を掲示し、互いに交流することで授業改善を意識して行っている。

「授業の心得」を学級の基盤として考え、各担任・担任外への学習における共通理解を行い、指導を行っている。加えて立腰タイムに取り組む、児童が落ち着いて学習する指導を行っている。

学習前に適宜立腰タイムを取り入れることで、落ち着いた環境で学習が進められるよう取り組んでいる。スイスタ(休後学習)の時間を確保し、教員が分担して配慮の要する児童への個別対応ができている。

読書月間を設けたり、ブックトーク、読み聞かせ等の機会を設けることで、読書活動を推進している。図書館司書の協力のもと図書館の読書コーナーや掲示を充実させている。

読書ウォーク、読書月間を設定し、読書活動を推進している。読書ビンゴやおすそめの本の一覧表、シール、委員会によるイベントなど興味や好奇心を喚起する実施している。年間貸出冊数の目標を定め、学校が一丸となって読書に励んでいる。

栄養教諭等による食育指導を通じ、食事のマナーや偏食の激しい児童に対してのよりよい指導を行っている。学校行事等では、道徳教育の実践ができるよう事前指導、事後指導を行っている。利他の心や自主の心などを育むことで、それらを生かす活動を各学年が行い、実践することができている。

教職員が児童の得手となるよう、言葉遣いや行動に気を付け、指導を続けている。

3～6年生の有志で結成した「あいさつ隊」を中心に、朝のあいさつ運動を行っている。小中合同あいさつ運動を実施している。「自ら進んであいさつができるよう、継続して指導が必要である。

教職員の意識は、きちんとさせようとする方向に向いている。休み時間や放課後、登下校時など、目の行き届かない場面でも、自然とできるように、指導を継続している。

本人のみならず家庭にも問題を扱う原則について、全教員で分担して対応できている。毎月生徒指導・教育相談会議を行うことで、教職員で共通理解を図り、組織的に対応している。不登校、問題行動について家庭訪問や関係機関への相談を行うことで組織的に対応している。

教育相談日や設ける、保護者と共通理解を図ったり、必要に応じてSSW、SCなどにまつなげ、連絡や保護者の予防的指導に力を入れている。

児童の自己有用感を持たせるため、教職員への指導を通じ、認めあえる学級づくりをしている。なかよしアンケートを実施し、定期的な振り返りを行っている。「いじめ撲滅宣言」を全員が行い、全校あげていじめをしない「いじめをさせない」土壌づくりをしている。管理職と担任の素早い連携と対応で未然に防いでいる。

災害マニュアルを各教室に掲示することで、迅速に対応できるようにしている。有事(災害を含む)の際の避難経路や避難方法について児童に指導を行い、対応できる体制をとっている。

毎月10日に安全点検を実施し、児童の安全を配慮した学校づくりを進めている。交通安全教室や避難訓練を行い、交通安全や災害対策の指導を行っている。

学年や校務分掌ごとに掲示場所が決められ、掲示教育に力をいれている。美化デーや環境委員会等の取り組みにより環境美化に取り組んでいる。児童の作品を校内に掲示したり、「もてすび清掃」を推進したりするなど、環境美化を心掛けている。

学期末の成績処理等の時間確保を行っている。「ふれあいデー」については金曜日に設定し、連休日と連続して、心身を休める時間が確保できるようにしている。

ホームページでは、日常の子供たちの様子を紹介している。更新も頻繁に行うことができている。コロナ禍による臨時休業期間中には、学校と家庭をつなぐ手段として有効に活用できた。学校便り裏面でも、教育活動の様子を紹介している。

スクールガードや読み聞かせなど多くの地域の方に安全面や学習面で協力いただいている。また、旗振り、給食基金など保護者の方に協力いただいている。今年度は感染防止対策のため、多くの取り組みが自粛となった。

感染防止対策のため、多くの取り組みが自粛となった。コロナ対応に向けて、マスクや消毒液など、提供に協力していただくことができた。

